

島根県西部県民センター 益田事務所 玄関へ花苗の植栽

令和4年6月13日 島根県西部県民センター益田事務所（島根県益田合同庁舎）の入口に設置させて頂いたプランターに、季節の花を植えました。これは女性部会が社会貢献事業の一環として毎年行っているもので、訪れた方々が目にして心やかになって頂けるよう植栽をしました。



随時 会員募集中！！

～ 是非！皆様のご加入をお待ちしております～

（公社）益田法人会は、益田税務署管内の法人（個人）を会員として、良き経営者を目指すものの団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、「納税意識の向上」と「企業経営および社会の健全な発展」に貢献する団体です。

現在、益田市・鹿足郡の企業様801社（個人含む）で構成されており、年間を通して、税務研修会・講演会・社会貢献活動・会報誌の発行・会員交流事業など、様々な活動を積極的に行っております（R4.3月末現在）。

◎メリット

- ・正しい税の知識が身に付きます
- ・各種研修会・セミナー等を無料で情報提供致します
- ・異業種交流ができ、人脈が広がります
- ・福利厚生制度で、一部保険料の団体割引の適用があります 等

◎会費（口数は何口でも可能です）

一般会員	年間	1口	7,000円
賛助会員	年間	1口	3,500円

■お問合せ (公社)益田法人会 事務局
TEL(0856)23-7640



青年部会・女性部会の会員様も、募集しております！

青年部会

青年部会は、次世代を担う若手経営者の皆様により、様々な事業の開催やサポートを行っています。

会の運営において、大変ご尽力を頂いております！

- ・部会員数：44名（R4.3月末現在）
- ・入会資格：益田法人会会員企業の経営者並びに幹部で50歳未満の方
- ・会費：年間 2,000円



女性部会

女性部会は、青年部同様に様々な会の事業活動をお手伝いしています。女性ならではの、柔軟さや華やかさも活かして、元気に活躍されています！

- ・部会員数：26名（R4.3月末現在）
- ・入会資格：益田法人会会員企業の経営者並びに幹部で75歳未満の方
- ・会費：年間 2,000円



児童図書 を 寄贈

■ 益田市立匹見小学校・吉賀町立六日市小学校 ■

公益社団法人 益田法人会（森本恭史会長）は、益田市立匹見小学校へ7月5日（火）及び吉賀町立六日市小学校へ7月7日（木）に児童図書（各5万円相当）を寄贈しました。

益田市立匹見小学校

7月5日（月）森本会長、市原副会長は匹見小学校を訪れ、児童図書「学研の図鑑LIVE世界の昆虫」「手作りおもちゃ傑作集うごく工作」など20冊の目録を代表児童へ手渡しました。代表児童からは、「新しい本を使って調べ、勉強に活かしたい。」「色々な物を作りたい。」などの声が聞かれ、これから授業や普段の読書活動に活用したいと謝辞がありました。



吉賀町立六日市小学校

7月7日（木）森本会長、吉本副会長（吉賀支部長）は、六日市小学校を訪れ、代表児童へ児童図書20冊の目録を手渡しました。代表児童から「たくさん本をありがとうございます。」「日常生活や勉強に活用したい。」などの謝辞がありました。



児童図書 を 寄贈

■ 益田市立図書館（益田法人会文庫） ■

公益社団法人 益田法人会（森本恭史会長）は、7月12日（火）益田市立図書館へ小・中学校向けの学習図書（5万円相当）を寄贈しました。この児童図書の寄贈は地域社会の健全な発展のため社会貢献活動の一環として平成22年から行っている事業で令和3年度で12年目を迎え、寄贈図書は累計で690冊となります。

当日は、森本会長、市原副会長、大畑社会貢献委員長が益田市役所 市長室において山本益田市長へ目録が手渡されました。山本益田市長から「寄贈図書子どもたちの調べ学習等で大いに活用していくことができるよう、周知して行きたい。」と謝辞がありました。



田原資材株式会社

代表取締役 田原 央

〒698-0024 島根県鹿足郡吉賀町柿木村大野原580-2

TEL:0856-79-8008 FAX:0856-79-8009

URL:https://tabara-shizai.com

- ①わが社のモットーとPR
- ②住職の趣味、余暇の過ごし方等
- ③自由発言



代表取締役 田原 央 氏

“社員とその家族に信頼される会社を！安全管理の徹底”

沿革：1985年4月 建設資材販売を開業

沿革：2000年6月 一般貨物自動車運送業、
利用運用業開始

沿革：2011年4月 田原資材株式会社開業

従業員数：11名

事業内容：建設資材販売、運送業、吉賀町不燃物
収集運搬、吉賀町・島根県除雪業務委
託、産業廃棄物収集運搬業

①創業当初は、採石販売が主体、現在は運送業、
吉賀町不燃物収集運搬など幅広い業務を展開。採
石販売については地産地消の観点と県境に位置し
ている地の利を生かして良い物を販売している。
運送業についてはダンプ5台、25tダンプ2台、
パッカー車2台、長距離運送用に大型低床ウイン

グ2台を保有する。現在は、運送業と採石販売が
メイン。その中で25tダンプは通常のダンプの
1.5倍積載できるのでプラントの仕事の効率化に
重宝している。車両運行は、徹底した安全管理を
指導。顧客、地域住民の方々に迷惑を掛けない運
転をするよう指導。また、社員とその家族とのコ
ミュニケーションが大切と考えておりレクリエー
ション大会等を企画し、社員とその家族に信頼さ
れる会社運営を心掛ける。

②次男が高校で駅伝選手として活躍中、各大会に
は必ず応援に駆けつけます。応援が高じてカメラ
が趣味になりました。

③運送業は、軽油税、重量税など多種の税金を納
めている業種です。納められた税が景気回復な
ど、効果的に活用して頂きたい。



(車両ラインナップ)



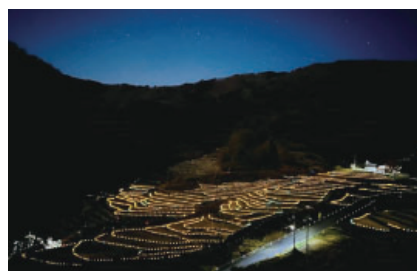
(25tダンプ)



(大型低床ウイング)



(除雪業務)



(大井谷棚田の灯り)



(米焼酎かきのきむら)

丸茂神楽社中

座長 大谷 真登

(連絡先)

〒698-0207 島根県益田市美都町丸茂1033-5
TEL:090-6831-4356



座長 大谷 真登 氏

地域との繋がりが大切！神楽人として魅力的な舞を！

沿革：明治初期、初代大野亀太郎氏が三隅町上古和に在住時に三隅町湊浦、野上宮司より伝承を受け、明治25年同氏の妻の出身地、美都町丸茂に移住したのを期に丸茂地区に発足

会員数：23名

活動内容：伝統芸能の保存と継承、神社奉納、イベント、神楽振興活動

明治25年初代大野亀太郎氏の妻の出身地美都町丸茂に移住したのを期に丸茂神楽社中を発足。三隅町発足以来約130年の歴史がある。昭和56年に美都町無形民俗文化財に指定。その後、平成16年11月市町村合併に伴い益田市無形民俗文化財となった。現在23名が所属し、地域との繋がりを大切にしつつ神社奉納、祭事など神社運営への協力

等、地域に密着した活動を展開している。また、蘇我入鹿、二人芝など丸茂神楽社中独自の舞を大切に継承し、島根県の無形民俗文化財指定を目指したい。他方、後継者育成のため週1回都茂子ども神楽団の指導も積極的に行っている。令和4年8月11日に開催された「ますだ子ども神楽共演大会」へ出場。本大会の運営や神楽振興活動へも積極的に協力する。

今年度の活動では、関西方面からの神楽体験ツアーや大阪公演などコロナ感染対策をしつつ活動を展開中。

今後は、社中のホームページ開設など、各種メディアを活用し、全国の方々に神楽の魅力を発信する他、新和会・MASUDAカグラボと協力して石見神楽を地元の観光資源としたい。



(道の駅サンエイト美都 第一回定期公演)



(夜神楽「大蛇」)



(都茂子供神楽団「八幡」)



(多田温泉 神楽体験ツアー)



(練習風景)



(神楽WEEK 都茂小学校お出迎え)